

● 主に県や市から発注された道路工事、下水工事を手掛ける建設会社であるS社で、社長が採用時に重視するのは、本人に今後の人生計画があるか否かだ。

● **S社は社員に、入社して3ヶ月後どうなっていたのかという目標を立てさせることが必須である。その目標を達成するためにやるべきことを、採用の面接中に考えてもらう。**この目標が具体的に立てられない人は採用を見合わせる。

● そして入社から3ヶ月経って試用期間が終わる際に再度社長と面接。試用期間の感想とともに目標が達成できたのかを確認している。

● **「これから先の人生に具体的な夢や目標のない者は仕事が続かない」**というのが社長の持論である。短期間で離職を繰り返している人のほとんどはこれが当てはまり、5年10年先の夢は持たないままだという。単に正社員になることをゴールにしてしまうと、働き始めてすぐちょっとしたことにつまずいてしまう。

● 建設の仕事はきつい。いざ現場で仕事を始めたと

きに、「この技術を身につけたい」「このくらいのレベルに達したい」という具体的な目標を掲げておくことで目の前のきつさを乗り越えられるのだと社長は語る。

● 試用期間後、正式採用された者は1年ごとに目標を立てる。毎年全社員と面接をして、その目標の達成度や翌年の目標について話し合う機会を持ちたいと社長は考えている。